

2007年3月期 中間決算説明会

1. 中間決算の概要(連結)
2. 当社の基本戦略
3. 循環器分野概要

2006年11月28日

日本光電工業株式会社

証券コード : 6849

<http://www.nihonkohden.co.jp>

中間決算の概要(連結)

- 1) 当中間期の決算概要
- 2) 営業利益増減の要因分析
- 3) 商品群別売上高
- 4) 国内売上高
- 5) 海外売上高
- 6) 財政状態
- 7) キャッシュフロー
- 8) 設備投資と研究開発費
- 9) 通期の業績見通し

1) 当中間期の決算概要

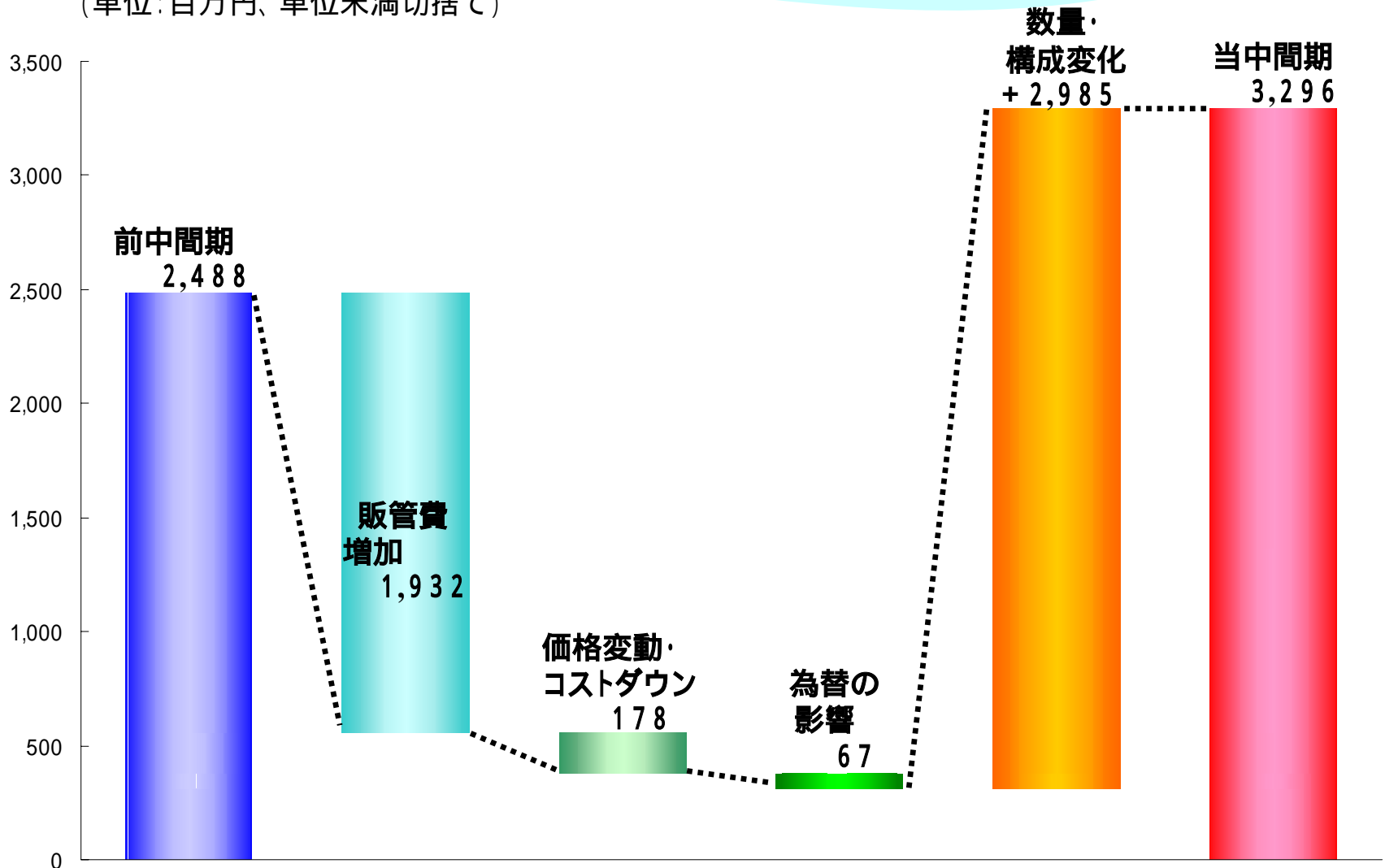
(単位:百万円、単位未満切捨て)

	前中間期 (2005/9)	当中間期(2006/9)		
		期初予想	実績	増減率 (%)
売上高	40,755	44,300	47,113	15.6
営業利益	2,488	2,900	3,296	32.5
経常利益	2,782	2,900	3,558	27.9
中間純利益	2,174	1,400	2,049	5.7

(注) 11月10日に中間業績予想の修正を発表いたしました。

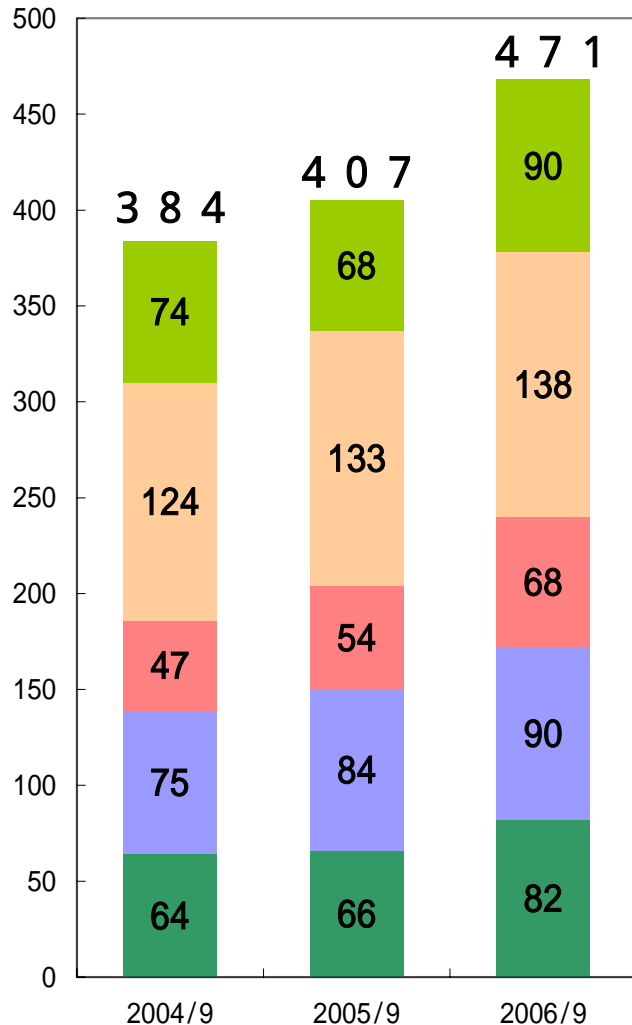
2) 営業利益増減の要因分析

(単位: 百万円、単位未満切捨て)



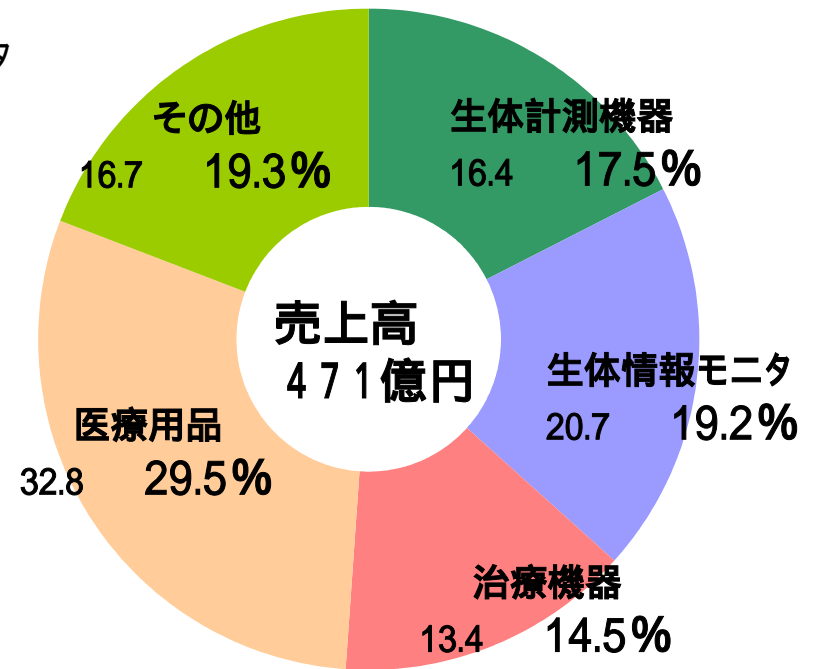
3) 商品群別売上高

(単位: 億円)



- その他
- 医療用品
- 治療機器
- 生体情報モニタ
- 生体計測機器

商品群別売上構成比(2006/9)



3.1) 生体計測機器

(売上高 単位:百万円)

	前中間期 (2005/9)	当中間期 (2006/9)	増減率(%)
脳神経系群	3,106	3,252	4.7
心電計群	2,370	3,300	39.2
ポリグラフ群	1,187	1,701	43.3
生体計測機器合計	6,664	8,252	23.8



脳波計 EEG-1518



心電計 ECG-1500



ポリグラフ RMC-4000

3.2) 生体情報モニタ

(売上高 単位:百万円)

	前中間期 (2005/9)	当中間期 (2006/9)	増減率(%)
生体情報モニタ合計	8,450	9,065	7.3



ベッドサイドモニタ
BSM-9101



セントラルモニタ
CNS-9701

3.3-1) 治療機器

(売上高 単位:百万円)

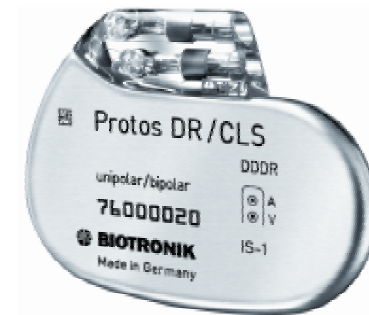
	前中間期 (2005/9)	当中間期 (2006/9)	増減率(%)
除 細 動 器	2,339	3,821	63.4
ペ ー ス メ ー カ	1,731	1,690	2.4
人 工 呼 吸 器	1,097	846	22.9
そ の 他 治 療 器	277	447	61.4
治 療 機 器 合 計	5,444	6,804	25.0



除細動器 TEC-7700

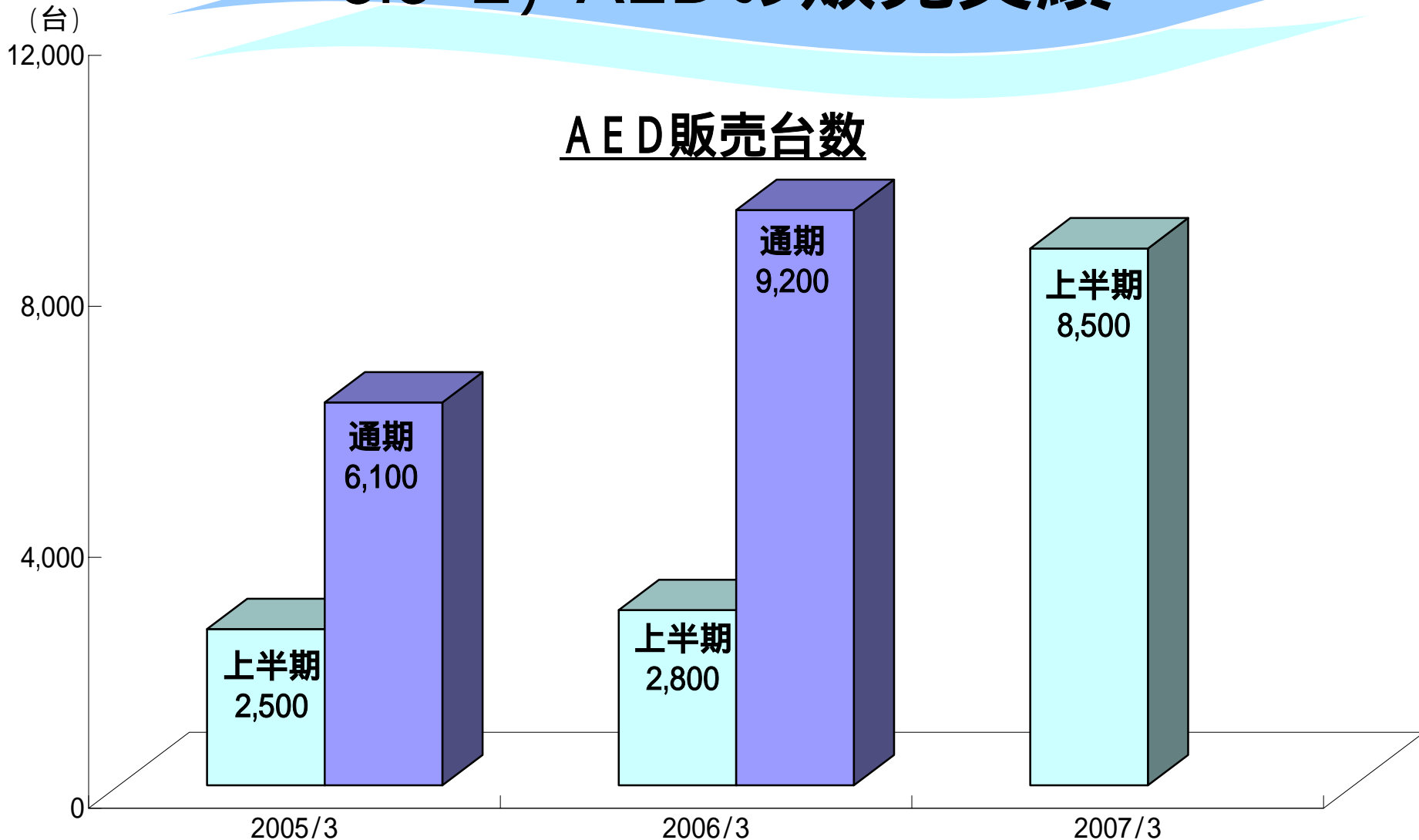


AED-9200



心臓ペースメーカ Protos DR

3.3-2) AEDの販売実績



- 07/3期上半期のAED販売台数は約8,500台
- 02/5発売以来の累計台数は約26,700台

3.4) 医療用品

(売上高 単位:百万円)

	前中間期 (2005/9)	当中間期 (2006/9)	増減率(%)
消 耗 品	10,874	11,033	1.5
修 理 ・ 保 守 他	2,482	2,864	15.4
医 療 用 品 合 計	13,356	13,897	4.1



フィンガープローブ TL-201T



テイスボ電極 N-031S3

3.5) その他

(売上高 単位:百万円)

	前中間期 (2005/9)	当中間期 (2006/9)	増減率 (%)
そ の 他 合 計	6,840	9,094	32.9



全自動血球計数器 MEK-6400

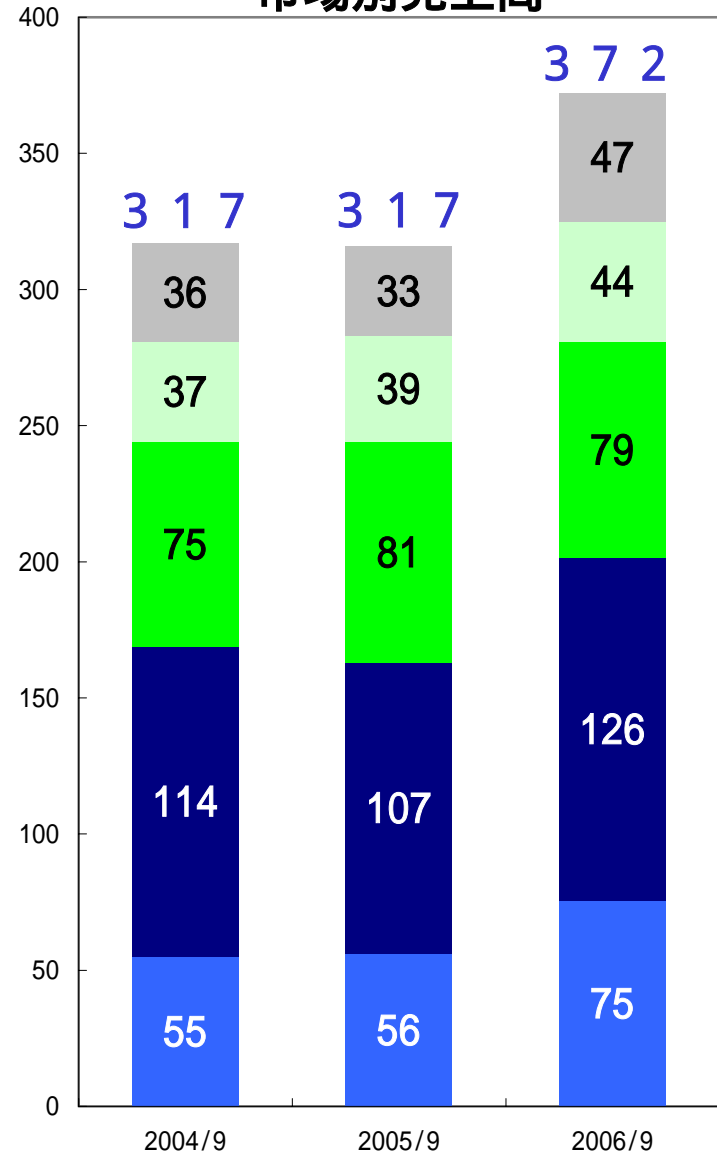


診療支援システム Prime park

4) 国内売上高

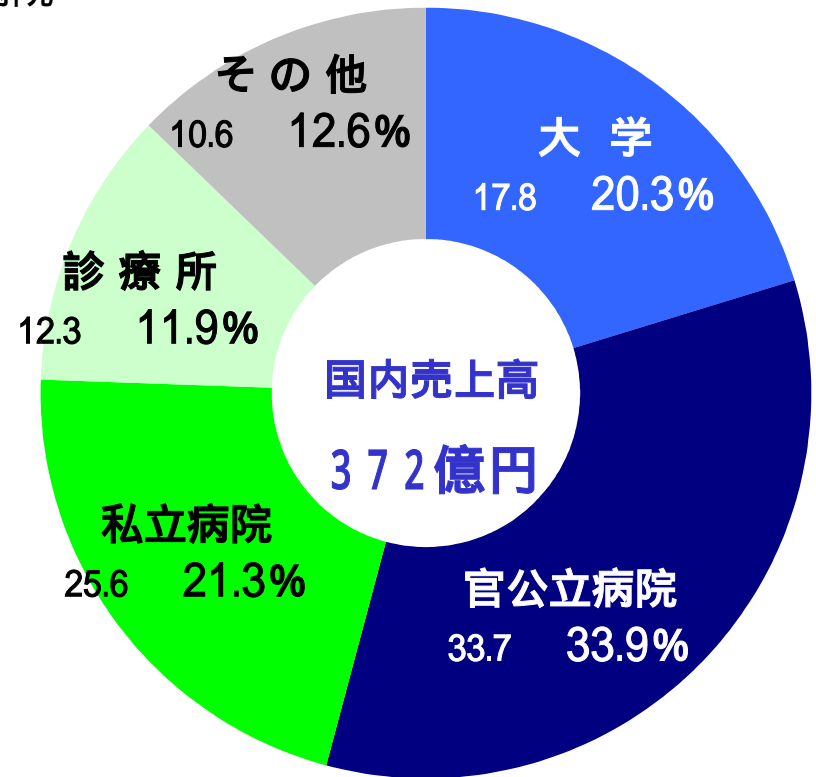
市場別売上高

(億円)



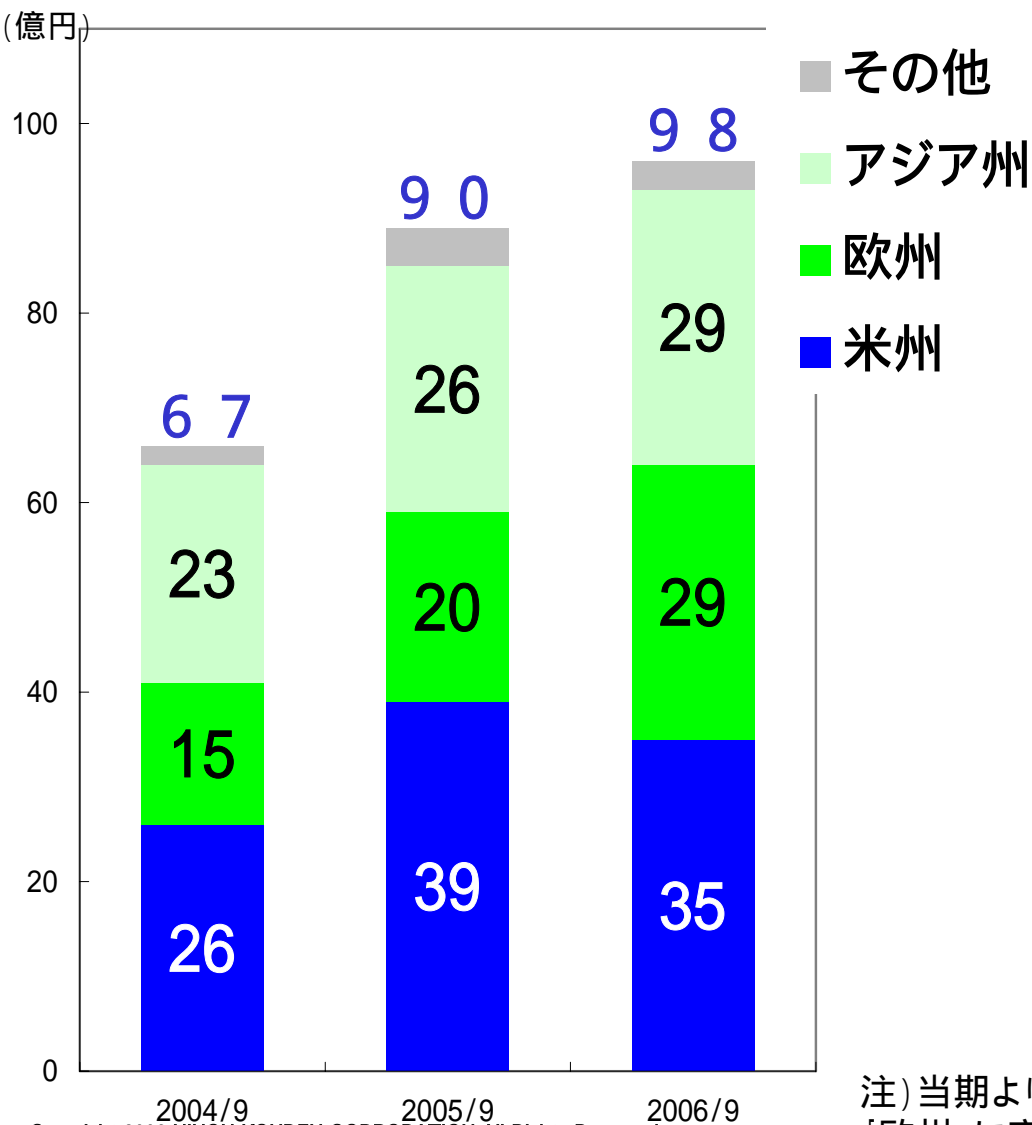
- その他
- 診療所
- 私立病院
- 官公立病院
- 大学

市場別売上構成比



5) 海外売上高

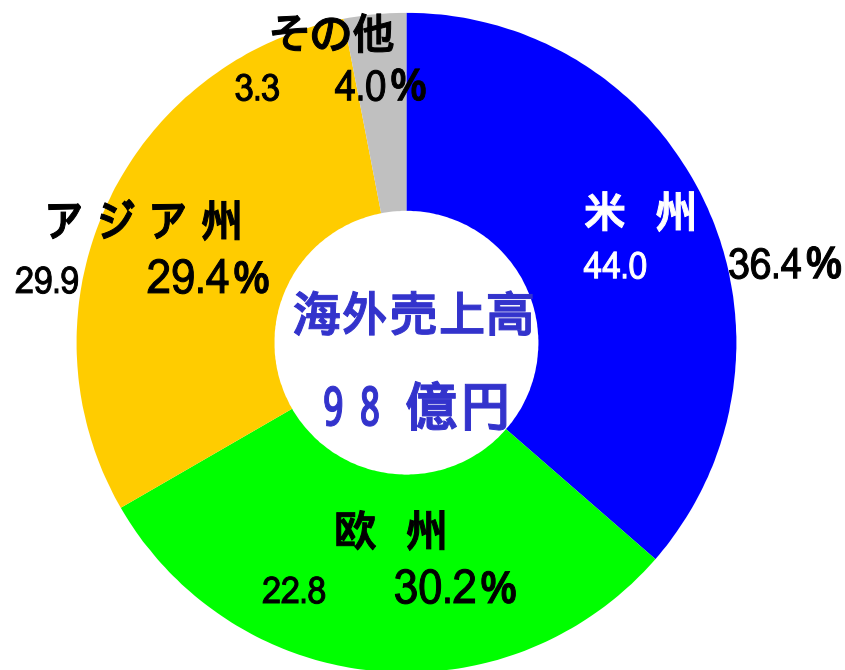
海外売上高構成



海外売上高比率

2004/9	2005/9	2006/9
17.5%	22.1%	21.0%

地域別構成比



注) 当期より、「トルコ」の地域区分を「アジア」から「欧州」に変更しています。

6) 財政状態

(単位:百万円、単位未満切捨て)

	前中間期末 (2005/9)	前期末 (2006/3)	当中間期末 (2006/9)	増減額
流動資産	49,379	58,450	56,455	1,995
固定資産	13,879	15,060	15,819	759
資産合計	63,258	73,510	72,274	1,236
流動負債	20,611	27,296	24,454	2,841
固定負債	368	336	607	271
負債合計	20,979	27,632	25,062	2,570
純資産	42,279	45,877	47,211	1,333
負債・純資産合計	63,258	73,510	72,274	1,236

上期末の取引に比べ年度末の取引が多いため。
 売上債権 3,242
 仕入債務 1,429

注) 前中間期末および前期末の純資産には少数株主持分を含んでいます。

7) キャッシュフロー

(単位:百万円、単位未満切捨て)

	前中間期 (2005/9)	当中間期 (2006/9)	増減額
営業CF	2,409	2,693	284
投資CF	663	1,301	638
FCF	1,746	1,392	353
財務CF	811	831	19
換算差額	165	38	127
増減額	1,100	599	500
中間期末残高	7,812	11,404	3,591

	(05/9)	(06/9)	増減
仕入債務	4,182	1,429	2,752
法人税等	722	2,293	1,570

	(05/9)	(06/9)	増減
投資有価証券の売却/取得ネット	225	127	353
有形固定資産の取得	737	1,076	338

8) 設備投資と研究開発費

(単位:百万円、単位未満切捨て)

	2006/3	2007/3		増減額 (年度比較)
	通期実績	上期実績	通期計画	
設備投資額	1,637	1,371	2,800	1,163
減価償却費	1,592	742	1,900	308
研究開発費	4,812	2,355	5,000	188

設備投資の上期実績…………… 経常的な設備の更新
新製品の「金型」投資
本社一部移転
EMCサイト

下期計画における主な案件… 新製品の「金型」投資
試薬工場建設[富岡]
EMCサイト

9) 通期の業績見通し

(単位:百万円、単位未満切捨て)

	2006/3 前期実績	2007/3		前期比 (%)
		期初予想	修正予想	
売上高	90,367	93,100	97,700	8.1
営業利益	7,414	8,300	8,800	18.7
経常利益	8,083	8,300	9,000	11.3
当期純利益	5,788	5,200	5,400	6.7

当社の基本戦略

- 1) ビジョン
- 2) 経営方針
- 3) 中期経営計画
- 4) 今期の基本戦略

1) ビジョン

医用電子機器メーカーとしての グローバルブランドを確立する

2009年度までに

売上高 1,000億円

経常利益 100億円

海外売上高比率 25%

を目指す

2) 経営方針

ビジョン

医用電子機器メーカーとしての
グローバルブランドの確立

経営方針

適正利益の確保による企業価値向上
顧客の信頼の確立
独創的技術・商品の開発
事業の重点展開と世界市場の攻略
事業国際化の推進
新事業への展開
業務機構の改革
全員参加による事業運営
コンプライアンスの推進

3) 中期経営計画

	04/3 (実績)	05/3 (実績)	06/3 (実績)	中期計画 (2007/3目標)	07/3 予想
売上高	831 億	838 億	903億	930 億	977億
海外売上高比率 (%)	17.0 %	18.2 %	20.6%	20.5 %	24.0%
経常利益	59 億	76 億	80億	80 億	90億
売上高経常利益率 (%)	7.2 %	9.1 %	8.9%	8.6%	9.2%
ROE (%)	11.3 %	17.6 %	13.5%	12.0 %	
在庫削減額 (在庫高)	135 億	146 億	140億	40億(95億)	

2004/3において策定した3カ年計画

4) 今期の基本戦略

商品戦略

- ・センサ技術や信号処理技術の強化
- ・医療情報システムのソフトウェア技術の強化

国内販売戦略

- ・急性期病院市場、検査機器市場でのシェア拡大
- ・診療所市場・PAD市場での販売強化

海外販売戦略

- ・米州・欧州・アジア州の3極体制の確立
- ・アフターサービス体制の強化

循環器分野概要

循環器病について

食の欧米化に伴い、心疾患による死亡数・死亡率は上昇傾向

循環器病とは

脳卒中、高血圧症、虚血性心疾患(狭心症、心筋梗塞)、
大動脈瘤、不整脈・・・

循環器病の特徴

- 生活習慣が影響
- 一刻を争う場合が多い
- 再発しやすい
- 食習慣、運動習慣、休養、喫煙、飲酒
- 急性心筋梗塞、心室細動・・・
- 狭心症、心筋梗塞、頻脈性不整脈・・・

疾病発生の予防・迅速な治療・再発防止が重要

- メタボリック症候群の予防・改善
- 予防～治療～退院後の地域医療連携の促進
- 救急医療体制の充実

循環器分野での検査・診断

検査室

心電図

血液検査

心臓超音波検査

虚血性心疾患

(狭心症、心筋梗塞)

運動負荷心電図

不整脈

(心室細動、心房細動、心室頻拍等)

ホルター心電図

当社取扱

心臓カテーテル検査室 (心カテ室)

血管造影

カテーテルを用いた検査・診断

虚血性心疾患

血行動態検査

不整脈

電気生理検査 (EPS)

当社取扱ポリグラフ・電極カテーテル

循環器分野での治療

心カテ室・手術室

虚血性心疾患
(狭心症、心筋梗塞)

カテーテル治療

当社取扱

バイパス手術

薬物療法

頻脈性不整脈
(心室細動、心房細動、心室頻拍等)

電氣的除細動

当社取扱

ICD (植込み式除細動器)

アブレーション (心筋焼灼) 治療

薬物療法

徐脈性不整脈

ペースメーカー植込み

当社取扱

薬物療法

循環器分野での当社取扱い商品

商品群別

【生体計測機器】

心電計(ホルター・運動負荷含む)

心電図情報システム

ポリグラフ

心カテデータ
統合管理システム

【治療機器】

除細動器

ペースメーカー

【医療用品】

カテーテル

【その他】

超音波診断装置

画像情報
システム

検査・治療関連の循環器分野の売上高(国内外計)

06/3期 238億円 (売上構成比26%)

循環器分野での当社の強み

検査室から病棟にいたるまで、幅広い商品ラインナップを展開

検査室

心カテ室

手術室

CCU・ICU

病棟

循環器系の各種検査機器、治療機器、モニタリング機器など、それぞれの部門に必要な専門機器を豊富に取り揃えるとともに、電子カルテ時代に対応するシステムソリューションを提供

専門営業員による現場サポート

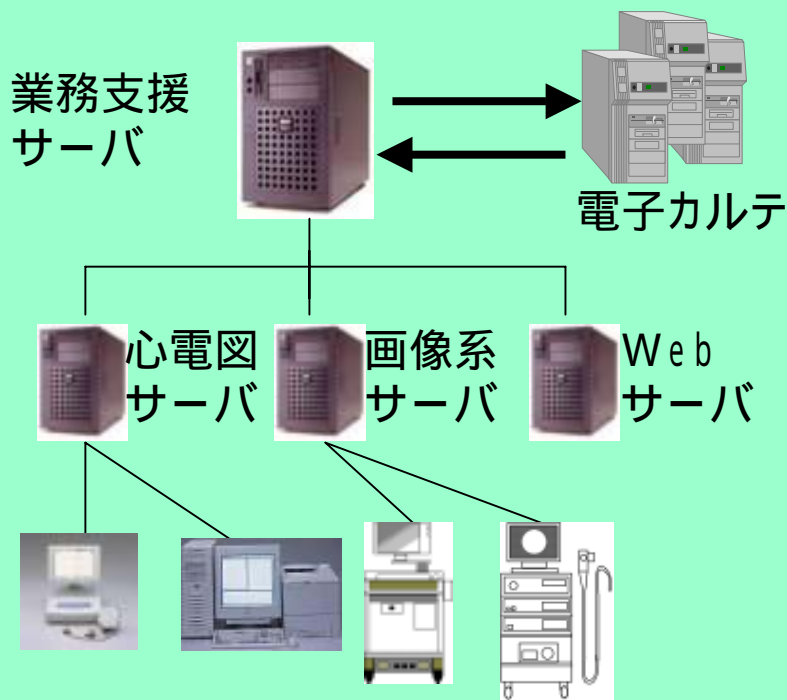
高度な医療知識と電子機器知識とを併せ持った営業員が、心カテ検査やペースメーカー植込みをフォローし、循環器医療をトータルサポート

臨床現場の多様なニーズに対応できる「総合力」

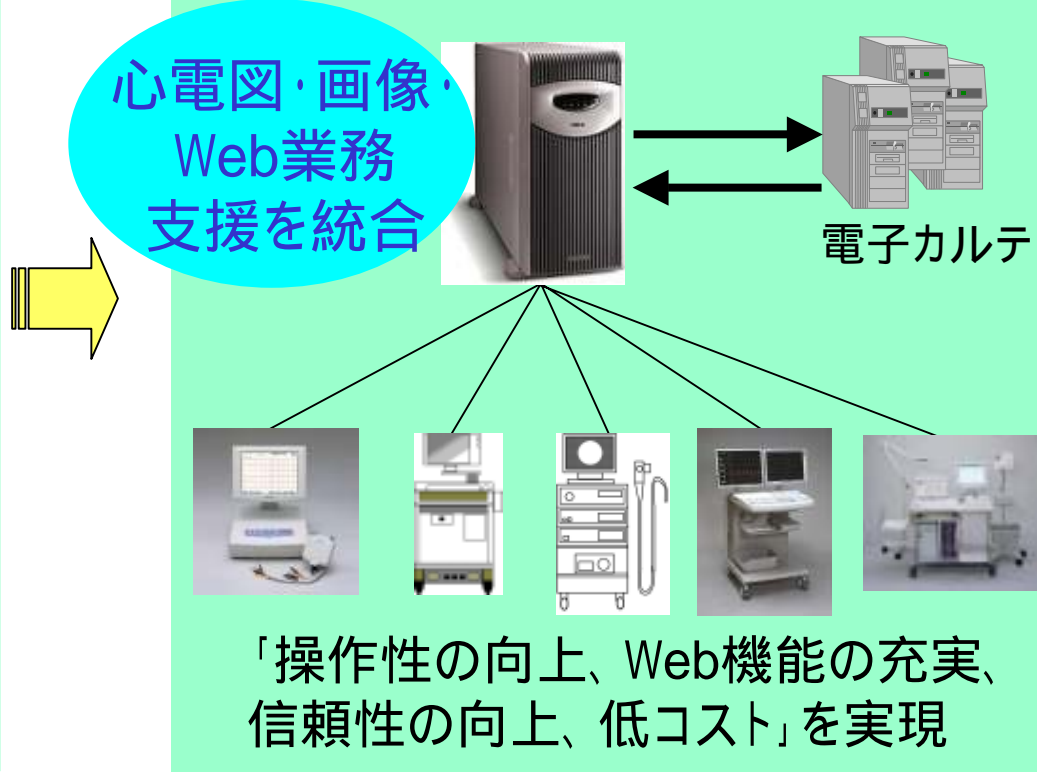
今後の取り組み システムソリューションの強化

2006年7月発売

旧システム



新診断情報システム PrimeVita



今後の取り組み

- 医療の安全、患者様へのサービス向上、業務の効率化への更なる貢献
- 地域医療連携に向けて、病院・診療所間での診断情報の連携を強化

今後の取り組み

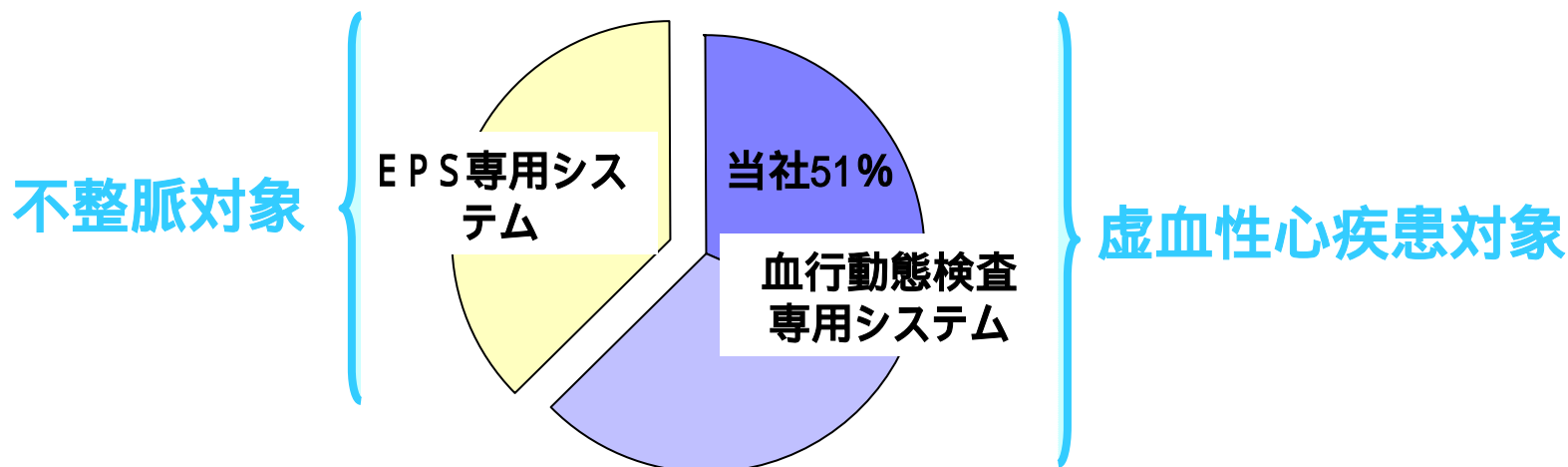
不整脈検査・治療機器の拡充

心カテ室で使われる

・血行動態検査専用システム市場で当社ポリグラフはトップシェア

・電気生理検査(EPS)専用システム市場に成長機会

EPS専用システム/血行動態検査専用システム市場



出典: 矢野経済研究所 05-06年度診断機器編、(2004年実績金額ベース)

心カテ室での更なるシェア拡大を目指し、不整脈検査・治療機器を拡充

血行動態検査専用システム：虚血性心疾患を対象とした心臓カテーテル検査で使用する臨床用と、実験等で使用する基礎用がある。
電気生理検査専用システム：頻脈性不整脈を対象とした心臓カテーテル検査で使用する装置。

-1 自社品ポリグラフの機能強化

2006年7月発売

旧製品



虚血性心疾患に対する
血行動態検査機能が充実

ポリグラフ RMC-4000



「1台ですべての心カテに対応」する解析
能力
不整脈に対するEPS機能を強化

今後の取り組み

RMC-4000の機能強化

EPS機能の拡充

IT化・標準化への対応強化

-2 シナジー効果のある海外製品の導入

エンサイトEPワークステーションの導入

2006年3月発売

不整脈診断をサポートする3Dマッピング装置



St.Jude Medical.inc, Endocardial Solutions. 製

今後の取り組み

不整脈治療機器の導入

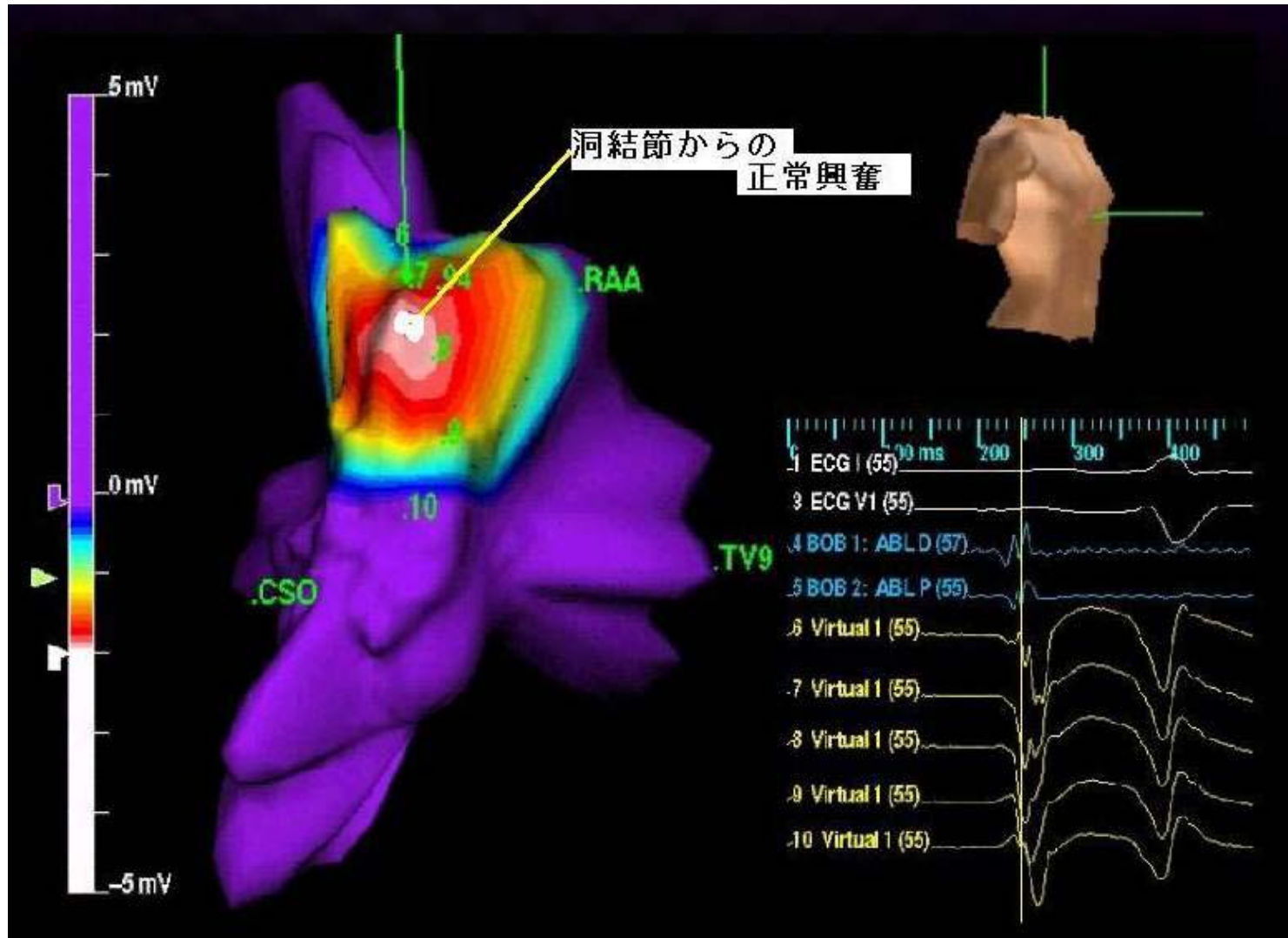
ICD (植込み式除細動器)

アブレーションカテーテル

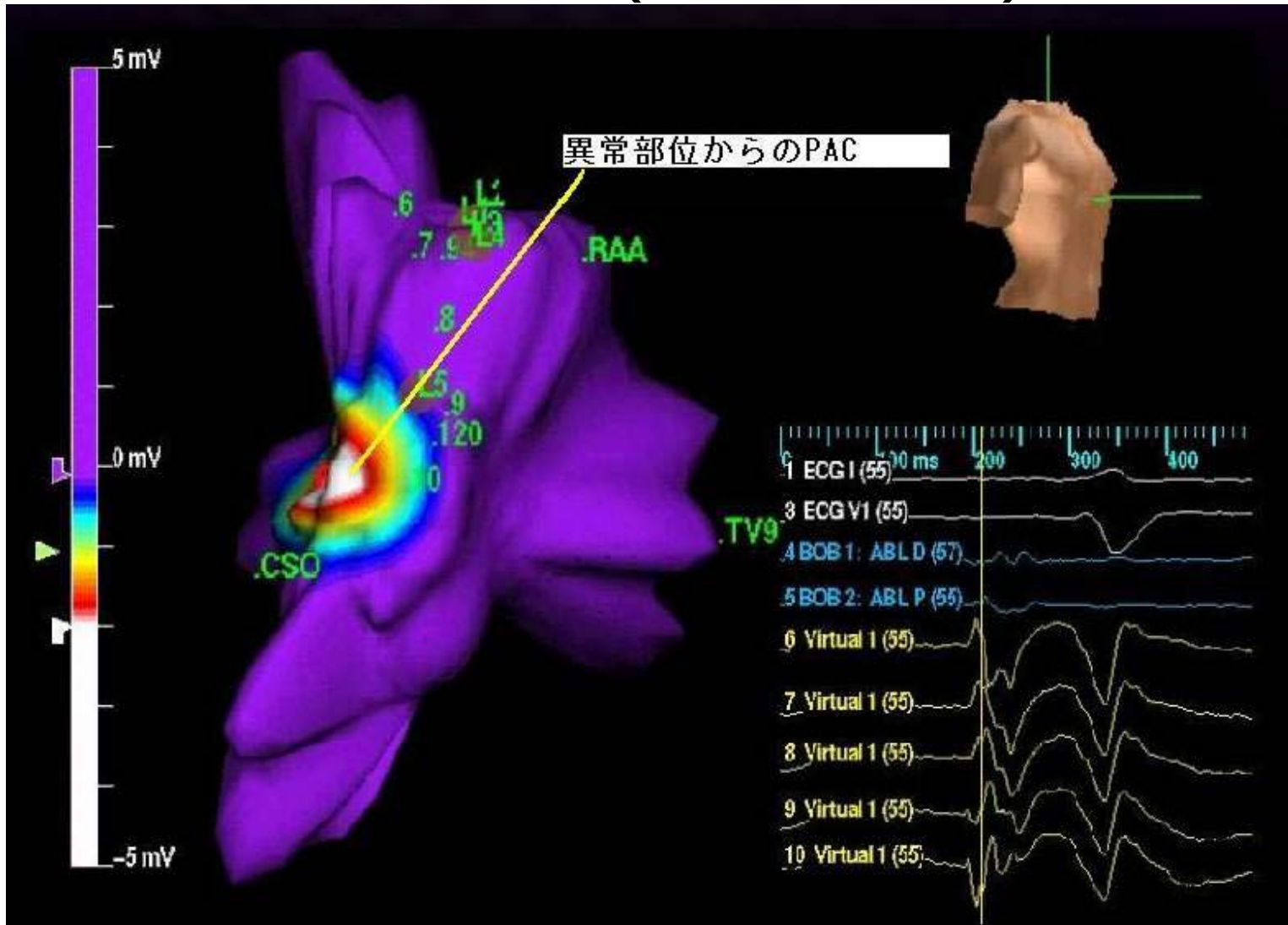
⋮

[参考] エンサイトEPワークステーション

正常興奮(洞調律)



[参考] エンサイトEPワークステーション 異常興奮(心房調律)



今後の取り組み 海外展開の推進

輸出商品群の拡充・強化

- 心電計 低価格のローエンド心電計
 院内の電子化に対応する機能の強化
- 除細動器 救急市場向けハイエンド除細動器
 ローエンド市場向け商品

直販販売網・代理店網の強化

- 輸出地域の拡大に向け販売網を強化

この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

【担当部署】 経営企画室

【連絡先】 03-5996-8003